

	Question	Answer
◆新型コロナウイルス禍における対応について 対象：2021年10月入学博士後期課程、2022年4月入学博士後期課程及び2022年4月入学博士前期課程		
◆出願資格について		
1	年齢制限はありますか？	年齢制限はありません。 個々の経験をいかした形で研究を進めていただけるかと存じます。
◆出願書類について		
2	TOEFLのスコアをETSに請求する際に、ETSへのリクエストフォームの記入に必要な情報（Institution code、Department code）を教えてください。	「Institution code」は募集要項記載のとおり「7803」です。 「Department code」は「99」と記入してください。「Name of Department」は記入いただく必要はありません。
3	外部英語試験のスコアは、再発行されたもので問題ないでしょうか？	問題ありません。 外部英語試験のスコア原本の提出は、次のいずれの方法でも結構です。 ・出願者から他の出願書類と併せて提出 ・試験実施機関（ETS、IELTS等）から教務係に直送
4	TOEFLのスコアにTest Date ScoresとMyBest Scoresの両方が表示されますが、どちらのスコアが採用されますか	本研究科では、My Best Scoresは採用していません。Test Date Scores（当該試験日のスコア）を利用します。
5	外部英語試験を過去に複数回受験しています。どのスコアを提出すればよいのでしょうか？	出願期間から5年以内のスコア原本であれば、出願者自身が一番良いと思うスコアを提出して下さい。違う種別のスコア（TOEIC、TOEFL、IELTS）が複数ある場合は、2種類以上提出いただくことも可能です。
6	出願期間後に届いた外部英語試験スコアがより高い点数の場合、出願時に提出したスコアと差し替えることができますか？	出願期間後に、差し替えることはできません。
7	出願期間終了日までにETSからの発行申請をしておけばよいのでしょうか？	出願期間内にスコア原本が本研究科に届くことが必要です。
8	ETSに発行申請すると大阪大学でもオンラインでTOEFLのスコアを確認する制度があるそうですが？	出願期間内にスコア原本を提出いただく必要があります。本研究科からETSに確認するという対応はしておりません。
9	アメリカの大学院修士課程を修了しています。外部英語試験スコアの提出は免除になりますか？	英語を公用語とする国に所在する大学を卒業された場合も、免除されません。
10	外国人留学生として出願する場合、必ず日本語能力証明書の提出が必要ですか？	日本語能力の証明の提出は必須ではありません。証明できるものがない場合は、提出しなくても結構です。
◆入学試験について		
11	過去問はありますか？	本研究科の入学者選抜は、学力検査（口述試験及び外部英語試験のスコア）、研究計画書等を総合して行います。口述試験の問題は公表しておりません。
12	外部英語試験の基準点を教えてください。	公表しておりません。
13	社会人又は外国人留学生の入学者選抜方法は、異なる扱いでしょうか。	入学願書において、出願者の区分（一般・社会人・外国人留学生）を選択いただきますが、選抜方法は同じ扱いです。
14	秋期入試に不合格となった場合は、冬期入試を受験することはできますか？	可能です。なお、検定料の納入を含め、再度出願手続きが必要です。

	Question	Answer
◆その他		
15	指導を希望する教員に、出願前にコンタクトする必要がありますか？	出願前に希望教員の内諾を得る必要はありません。ただし、博士後期課程への入学を希望される場合は、研究分野が合うかどうかについて、希望教員に事前に確認されることをお勧めします。
16	教員を紹介してください。	教員の紹介は行っておりません。各教員の専門分野・研究業績等については、研究科ウェブサイトの「教員紹介」を参照してください。
17	「国際公共政策専攻」と「比較公共政策専攻」の違いを教えてください。	カリキュラム等、特段の違いはございません。出願の際には、第一希望教員の所属専攻をご記入ください。
18	奨学金制度について教えてください。	研究科独自の奨学金制度はありませんが、日本学生支援機構、地方公共団体および民間団体の奨学金に申請することができます。 【参考（大学HP）】 https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/tuition/scholar